

No.2353

院長訪問

札幌厚生病院

本間 重紀 院長



北大病院や札幌市内病院勤務をはじめ、北大助教、講師、准教授等を経て、2度目となる札幌厚生病院に2024年から着任。副院長、院長代理を経て、4月から院長に就任した。都立駒込病院で直腸がんの手術修練、久留米大で免疫学研究に尽力、札幌厚生病院で先進的な腹腔鏡手術実績を積み上げる一方、本道におけるダビンチ手術導入・普及の立役者としても知られる。がん診療連携拠点病院として、質の高い治療や緩和ケア、チーム医療体制を強化。IBDセンターはトップクラスの症例数を誇るほか、道内各地から患者が訪れる循環器センター、健診センター、消化器疾患等対応もさらに向上させたいと話す。

働き方改革、タスクシフト。

“ダビンチ普及に尽力 ハッピーになれる風土醸成”

シエア推進、変形労働制の導入、福祉福利厚生充実、研修・教育の支援等により、高い職員定着率をキープする。「スマイル・フォー・オール」を掲げ、患者、職員、関係事業者など、みんながハッピーになれる風土醸成を目指す。安全、安心の低侵襲治療にこだわり、手技指導、若手教育にも力を注いでいる。総合病院の役割機能、認知を高め、「ここで働きたい。地域から信頼され選ばれる病院づくり」に邁進したいと力強く語る。趣味はスキー、水泳。現在はサウナにはまっている。「オペ室が私の気分転換の場所」と穏やかな笑みをこぼす。

札幌大1997年卒、北大第一外科同門。旭川市出身。

▼住所 札幌市中央区北3条東8丁目5番地